

研究だより



せらにし小学校研究部
令和2年 5月11日

No.3

☆本校の研究主題を確認しましょう。

	で、	を育む
～「	」と「	」を通して～

今日は、授業づくり（単元づくり）について考えていきたいと思います。授業をつくる
とき、何を大事にしていますか？自分の授業づくりをふり返ってみましょう。

[]

さて、ここからは、わたしがどのように単元をつくってきたのかを紹介したいと思います。

H29 総合的な学習の時間『元気な世羅を伝えよう

～せらにしのおいしさたっぷりみそ汁を作ろう～』

年間計画を見ていると・・・



県へきでは、必ず昼食にみそ汁が出されると聞いた。
みそ汁なら、家庭科、農業なら社会・・・他の教科
とつなげられる。このみそ汁を子どもたちに考えさせ
ることをゴールに据えて、学習を進めていこう。校長
先生に依頼してもらうところからスタートしよう。



自分たちは、1年生の時から地域の人たちに支えられて学習して
きた。地域の人たちに感謝の気持ちを伝えたい。太鼓を通して感謝
を伝えよう！

※こちらが設定したゴールよりも先を考えた子どもたち。おかげで、次の単元への流れ
がスムーズにいきました。

また、他教科との関連を図ることが十分にできました。「カリキュラム・マップ」を
見ながら、教科間のつながり、単元間のつながりを意識することは、とても大事なこ
とだと、この単元を通して改めて確認することができました。

H30 算数科『資料の特ちょうを調べよう～オールスターズのメンバーを選ぼう～』

カリキュラム・マップを眺めて、



せらにしと言えは駅伝。運動に対する子どもたちの意識も高い。ちょうど公開研の頃、駅伝練習がスタートする。監督になったつもりでオールスターズのメンバーを決める授業を作ってみよう。

※児童は、オールスターズのメンバーを決めるために、いくつかの資料を根拠に見方を変えながら、思考していきました。いくつかの資料がある時には、それぞれの資料から何が読み取れるのかを考える必要性に気付きました。

算数科だけではなく、体育科、課外の駅伝練習などとのつながりをもつことができました。

R1 算数科『比例～カレー作りの材料の分量を調べよう～』

カリキュラム・マップを眺めて、



親子会で「山・海・島」に向けてカレー作りをすることになった。カレーの箱には、6人分が書いてある。子どもたちは、いつも5人班。分量を比例の考え方を使って解かせてみよう。

※児童は、学習を通してこれまでも材料を考える時に「比例」を使っていることに気付きました。ここで見つけた気付きがそのまま日常で活かされるとともに、総合的な学習の時間に味噌作りをした時に生かされました。

R1 算数科『速さ～先輩たちの記録にチャレンジ～』

カリキュラム・マップを眺めて、



これまでの先輩たちのように絶対的エースがいない。みんなで競いながら記録を少しずつ伸ばしていくしかない。校内持久走大会で先輩たちの記録を越えることにチャレンジさせたい。ということは、作戦が必要。

※この年の児童は、運動を苦手に行っている児童も多くいました。その児童たちが、持久走大会に向けて、自分なりに考え、走り方を工夫していたことがこの学習をやって良かったことです。

わたしは、このようにカリキュラム・マップを眺めて、教科間、単元間のつながりを考えながら授業づくりをするようにしています。

では、これからやることです。

- ①先週、見直したシラバスをもとに、カリキュラム・マップを作成し直しましょう。
- ②午後の研修で、公開研究会の単元構想を交流します。(別紙)